

平成31年4月21日執行

墨田区区長選挙公報

墨田区選挙管理委員会



無所属
やまもと
山本とおる

共に創ろう『すみだ』の時代

すみだの「夢」実現 ステージアップ!

- ① 子育てと教育の環境をしっかり整え、生まれ育った地域に自信と誇りが持てるまち
- ② 人がつながり、支えあうことができる仕組みづくりを通じて、誰もが安心して暮らせるまち
- ③ 高齢者や障がい者が健康でいきいきと暮らし、地域力の強化に貢献していただけるまち
- ④ 地域産業の次世代を担う若者が、伝統を生かしながら新たな視点で活躍できるまち
- ⑤ 地域資源のさらなる掘り起こしと磨き上げを通じて、すみだの魅力を内外に発信できるまち
- ⑥ 産業・観光・教育の融合から、新たな価値観を生み、未来の安定が見えるまち
- ⑦ 区内各エリアの特性を活かし、それぞれの地域がますます光り、魅力あふれるまち

7つのまちを創造します

《プロフィール》

- 昭和36年 墨田区向島生まれ57歳
- 青山学院大学経済学部経済学科卒業
- サラリーマンとして4年勤務
- 東京都議会議員父故山本賢太郎秘書
- 平成19年5月 墨田区議会議員(2期8年)
- 平成27年4月 墨田区長初当選就任
- 剣道教士 七段
- 座右の銘
背私向公



無所属
すずき じゆんこ
鈴木順子

安倍政権の消費税増税や社会保障の切り捨てによって多くの区民の暮らしや権利が脅かされています。自民党・公明党が支える現墨田区政も、暮らし福祉を次々に切り捨てる一方で、スカイツリー関連などの大型開発には300億円近い税金をつぎ込んでいます。私は、こうした逆立ち区政を、みなさんと力を合わせ、暮らし・福祉第一の墨田へ転換します。

実現します

- 教育費の無償化へ、学校給食を無料に
- 保育の質と安全を確保した認可保育園の増設で待機児童の解消
- 国民健康保険料・介護保険料の引き下げ
- 若者・高齢者も使える家賃助成制度
- ものづくりの継承、創業支援と振興、産業集積を守る中小・商工業者の支援
- 「災害予防条例」の制定で防災対策を充実

開発優先やめ、暮らし福祉第一の墨田へ

区議7期26年 党派を超えた信頼

住民こそ主人公の区政を

無所属 明るい革新すみだ区政をつくる会・TOKYO14市民連合・日本共産党推せん

すいせん

後藤寛 (東京東部法律事務所・弁護士)
中村正樹 (医師・クリニック柳島所長)
百瀬静子 (元教師・新婦人墨田支部長)
小林利充 (墨田民主商工会会長)
中村和良 (墨田労働事務局長)
渡辺良 (墨田生活と健康を守る会会長)

プロフィール

1948年生まれ。和歌山県立熊野高校卒。1987年区議初当選。2001年に都議候補。2003年区議再選。通算26年。

消費税10%は今からでも止められます。あなたの一票は鈴木順子へ

墨田区長選挙

投票日 4月21日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

平成31年4月21日執行
墨田区長選挙公報
墨田区選挙管理委員会

※(この選挙公報は、墨田区議会議員及び墨田区長の選挙における選挙公報の発行に関する条例第5条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版のうえ掲載したものです。)